

第2回 新宿区協働支援会議次第

令和6年5月28日午後1時20分から午後4時
新宿区役所本庁舎6階第2委員会室

1 開 会

2 議 事

令和6年度一般事業助成二次評価（公開プレゼンテーション）の実施

3 次回開催について

令和6年度 第3回協働支援会議

令和6年11月18日（月）14時から16時

議題 (1) 一般事業助成の実施状況の報告

(2) 一般事業助成振り返り

4 閉 会

5 配付資料

[資料1] 令和6年度一般事業助成

二次評価（公開プレゼンテーション）の実施について

[資料2] 令和6年度一般事業助成

二次評価（公開プレゼンテーション）タイムスケジュール表

[資料3] 令和6年度一般事業助成 二次評価表（プレゼンテーション評価）

[資料4] 令和6年度一般事業助成 一次評価結果一覧

[資料5] 令和6年度一般事業助成 事前質問確認表

[資料6] プレゼンテーション資料 ※傍聴用配布資料と同じ

事前配布資料

○ 令和6年度一般事業助成申請書 一式（緑色ファイル）

令和6年度 一般事業助成 二次評価(公開プレゼンテーション)の実施について

- 1 日 時 令和6年5月28日(火) 13:30～
(会場 新宿区役所本庁舎6階 第2委員会室)

2 プレゼンテーションの実施内容

1 参加方法	<p>①登壇団体は、登壇の開始予定時間の15分前までにお越しください。(最初の団体は、13:40までに会場別室に集合してください。)</p> <p>直前の登壇団体の終了予定時間になりましたら、プレゼンテーション会場の廊下でお待ちください。係員が案内いたします。</p> <p>② プレゼンテーション会場への入場可能人数は、<u>1団体3名以内</u>とします。</p> <p>【注意事項】 事前に決めた順番でプレゼンテーションを実施しますが、決められた順番に不在の団体は二次評価を棄権したものとみなし、助成対象団体から除外します。</p>
2 プレゼンテーションについて	<p>① 1団体あたり、プレゼンテーション15分・質疑応答15分の合計30分です。 プレゼンテーションでは、助成事業の内容や事前にお伝えしている疑問点への回答を中心にお話ください。</p> <p>② プレゼンテーションの方法は自由とします。</p> <p>③ プレゼンテーション会場に設置してあるパソコン、プロジェクター機器の設備を使用してください。</p> <p>④ 残り時間は「5分」「3分」「1分」をボードにより掲示します。</p>
3 公開・傍聴	<p>プレゼンテーション会場は一般公開しております。 他団体のプレゼンテーションを傍聴することも可能です。</p>
4 評価方法	<p>申請書類、プレゼンテーション、質疑応答の内容に基づき評価を行います。 なお、評価委員の質問内容及び評価項目には、申請時にご提出いただいた全ての書類(団体活動資料等の参考資料部分は、事務局で内容を精査して適量を添付しています。)の内容を含みます。</p>

3 助成の決定

- 助成団体の交付申請結果通知書は6月上旬に送付します。
助成決定団体は、区のホームページ上でも公表します。

令和6年度一般事業助成 二次評価(公開プレゼンテーション)
タイムスケジュール表

資料2

会場:新宿区役所本庁舎6階第2委員会室

項目	スケジュール			団体名
	開始	～	終了	
委員集合・事前説明	13:20	～	13:30	
プレゼンテーション開始	13:30	～	13:50	
①臨床検査支援協会	13:50 14:05	～	14:05 14:20	プレゼンテーション 質疑応答
インターバル	14:20	～	14:25	
②チャプチャオカデミー	14:25 14:40	～	14:40 14:55	プレゼンテーション 質疑応答
委員 採点整理・休憩 事務局集計	14:55	～	15:20	
集計結果公表・助成団体候補決定	15:20	～	15:35	

プレゼンテーション30分(プレゼンテーション15分・質問15分)/インターバル5分

令和6年度一般事業助成二次評価表(プレゼンテーション評価)

委員名	評価					
	評価の目安	A 大いに認められる	B 認められる	C どちらかといえば認められる	D どちらかといえば認められない	E 認められない
		1		2		
		臨床検査支援協会		チャプチョアカデミー		
評価項目	(1) 区民ニーズを的確に把握し、地域課題や社会的課題を捉えた事業となっているか	(10点)				
	(2) 課題解決の手法が適切で、効果が期待できるものとなっているか	(10点)				
	(3) 区民の社会貢献活動への理解を深め、参加の契機となり得る事業となっているか	(5点)				
	(4) 事業計画及びスケジュールが実現可能で、妥当なものとなっているか	(10点)				
	(5) 実行体制(人員体制や安全対策)は適切であるか	(5点)				
	(6) 事業の継続性や発展性が期待できるか	(5点)				
	(7) 団体の先駆性や専門性を活かした事業となっているか	(5点)				
	(8) 申請した企画内容と照らして経費見積りが適切であり、収入における資金計画も適切であるか	(10点)				
	(9) 運営の公開性及び透明性に優れているか	(5点)				
	(10) 団体の運営状況が健全であり、多様な手段を用いて資金を確保するなど経営の安定に努めているか	(5点)				
※実績評価	(11) 過去に本助成を受けた事業を申請する場合、実施状況が適切であるか、その効果が発揮された事業であるか	(-5点)				
合計	70点満点		0		0	

※過去に助成を受けた事業のみ評価

※評価は、「A～E」で記載してください。

※各委員の評価を下記のとおり事務局で点数変換し、合計点を集計します。

* 10点満点の場合(評価A:10点、B:8点、C:6点、D:2点、E:0点)

* 5点満点の場合(評価A:5点、B:4点、C:3点、D:1点、E:0点)

* (11)の採点は(評価A:0点、B:-1点、C:-3点、D:-4点、E:-5点)

令和6年度一般事業助成一次評価結果一覧

順位	申請番号	一次評価	団体名	法人区分	事業名	分野	一次(書類)得点 (490点満点)	得点率	今回の申請関係			これまでの実績	
									申請額(円)	申請額累計	助成回数・助成率	同一事業への助成実績(年度)	その他事業への助成実績(年度)
1	2	通過	チャプチャオアカデミー	NPO法人	外国にルーツをもつ子どもたちへの日本語教育・多文化共生社会の実現	保健・医療・福祉	366	74.69%	500,000		2/3		
2	1	通過	臨床検査支援協会	NPO法人	新宿区民を対象とした健康体験フェアと健康セミナー	子どもの健全育成	347	70.82%	370,000		2/3		
合計									870,000				
<p>会議名: 第1回協働支援会議 実施日時: 令和6年5月7日(火) 午前10時~午前11時30分 場所: 新宿区役所本庁舎6階第2委員会室 出席者: 協働支援会議委員8名(藤井浩司座長、関口宏聡委員、平野覚治委員、田中史朗委員、佐藤奈穂美委員、伊藤清和委員、宮端啓介委員、大柳雄志委員)、事務局5名</p>													
<p>【一次評価の経過について】 第1回協働支援会議で一次評価(書類評価)を実施。各委員より提出された一次評価表をもとに協議を行った。 座長を除く7名の委員の評価の結果(上記)をもとに助成予算総額(200万円)・得点率(総得点の5割以上)の2点を総合的に勘案し、2団体を二次評価実施団体として決定し、一次評価の結果及び二次評価の実施について通知する。</p>													

令和6年度一般事業助成 事前質問確認表

団体名：チャプチャョアカデミー

番号	質問内容	回答内容
1	当事業については、今後の発展に向け、現時点の参加者だけでなく、新しい参加者を呼び込むことが必要であるが、具体的にどのような方法を考えているか。 また新たな参加者の人数目標等はあるか。	
2	(P.59 I.イベント（日本語教室）について) 毎週何曜日に、何時から等、定例的に行っているのか。	
3	(P.59 I.イベント（日本語教室）について) 区で実施する日本語支援については、細かくレベル分けをし、きめ細かく対応しているが、当事業はどのような方に焦点を当て、どのように対応していくのか。 また、きめ細かく対応する場合の実効性についてもどのように考えているか。	
4	(P.59 ③活動内容 I 日本語教室について) 実施場所が「大久保小学校」とあるが、学校（先生）との連携はどのように行っているか。	
5	同様な活動を行っている団体は他にも複数あるが、連携は考えていないのか。 区としては、ぜひそうした他団体とも連携し、継続支援を行ってほしいが、そういった点は、検討できるか。	
6	(P.61 IV イベント（居場所づくり、カウンセリング活動事業）について) 実施回数が「随時」とあるが、どの程度の頻度で実施する予定か。	
7	(P.61 IV イベント（居場所づくり、カウンセリング活動事業）について) 「韓国へ留学している大学生への生活相談・支援を行う。」とあるが、彼らは具体的にどのようなことに困っており、具体的にはどのような支援が必要だと考えているか。 また、事業が「外国にルーツをもつ」なのに、なぜ韓国に限定しているのか。	
8	(P.67 収支予算書について) サポーターからの寄付収入が300千円となっているが、収入の三分の一を占めており、事業の実現可能性に関わってくると思うが、当事業における収入見込はどのようにになっているか。 またNPO法人になる前のこれまでの寄付実績はどのようなものか。 サポーターとはどういった方を想定しているか。	
9	(P.67 収支予算書について) 当事業のボランティア22人とあるが、毎回22人が必要なのか。また現状人手は集まっているのか。 必要人数に到達していないのであれば、確保する方法をどのように考えているか。	

令和6年度一般事業助成 事前質問確認表

団体名：臨床検査支援協会

番号	質問内容	回答内容
1	<p>当日の検査結果のデータは非常に重要な個人情報となる。個人情報の取扱いについて、どのような管理体制を考えているか（データの取扱いや管理方法（情報の消去等）など）。</p>	
2	<p>（P3 I.イベント（認知症関連などの測定）について） 各種測定を行い現状把握した後、誰が利用者に結果を説明するのか。 医療に関わる内容の為、薬剤師や検査技師ではなく、医師から説明した方が良いのではないかと。またそういった体制は組めるのか。</p>	
3	<p>結果が思わしくなかった参加者について、医療機関へは誰（どのような資格の方）がどのように繋いでいくのか。</p>	
4	<p>（P2 ①事業目的・概要 I事業概要） 「必要があれば受診に繋がれば良い」という曖昧な表現があるが、（良くて悪くても）検査結果が出れば、あとは本人任せでよいのか。</p>	
5	<p>健康に対して意識の高い人は集客できるであろうが、健康に関心のない人を呼び込むのは難しいのではないかと。そうした人向けの対策はどのように考えているか。 また単独イベントではなく、別のイベントに出展するなどし、他の地域イベントをきっかけに呼び込むのも効果的だと思うが、他にも集客方法について検討している工夫や方策があるか。</p>	
6	<p>本事業の最終的な目標は何なのか。 参加人数の目標を50名としているが、当イベントに参加したことで参加者がどう変わるか、何に繋がるかが伝わってこない。50名参加したとしてもそれが受診率の向上につながるのか。 参加（アウトプット）したから終わりではなく、その後どのように繋がっていくか（アウトカムの指標）説明してほしい。</p>	